

## 加硫促進剤のビンキュアー性について (2)

前回<sup>1)</sup>、チアゾール、スルフェンアミド系加硫促進剤を用いた場合のSBRのビンキュアー性について紹介した。今回は、チウラム系加硫促進剤について紹介する。

図1に、加硫促進剤配合ゴムを40℃で処理した時のtc(10)を示した。熱処理することによりtc(10)が遅れる。図2から5にTT, TBZTD, TRA, TSの加硫曲線を示した。TRA以外は大きな変化はない。

### 実験

前回<sup>1)</sup>通り。

### 参考文献

1) NOC技術ノートNo.556；日本ゴム協会誌，80(4)，会告89(2007)

ここに記載した内容は、細心の注意を払って行った試験に基づくものでありますが、結果をすべて確実に保証するものではありません。

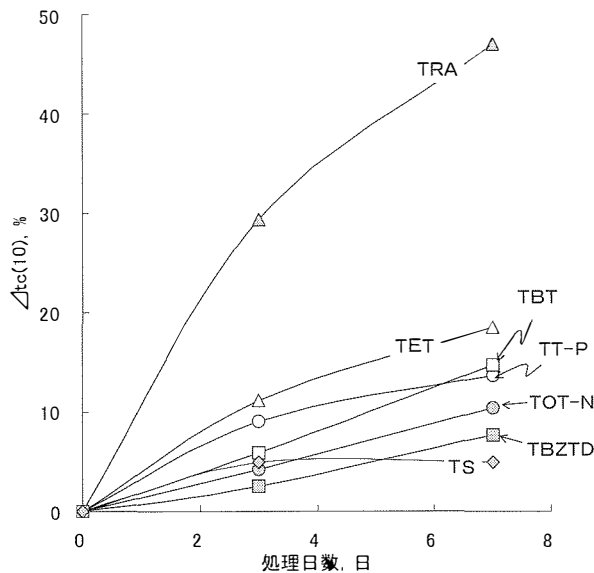


図1 40℃熱処理におけるtc(10)の変化

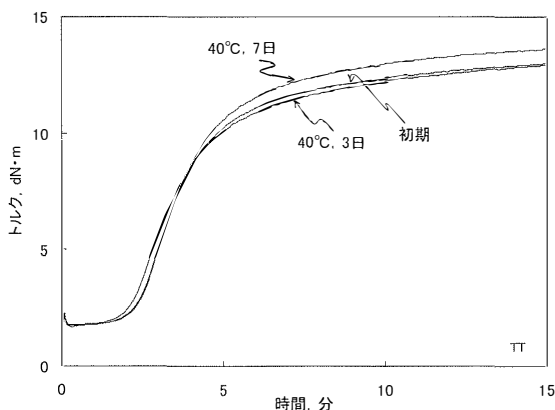


図2 TT配合ゴムのビンキュアー性

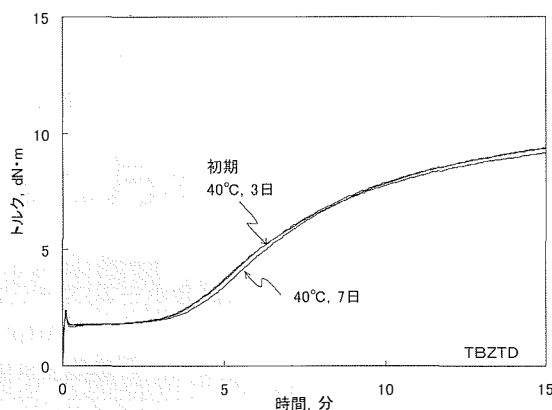


図3 TBZTD配合ゴムのビンキュアー性

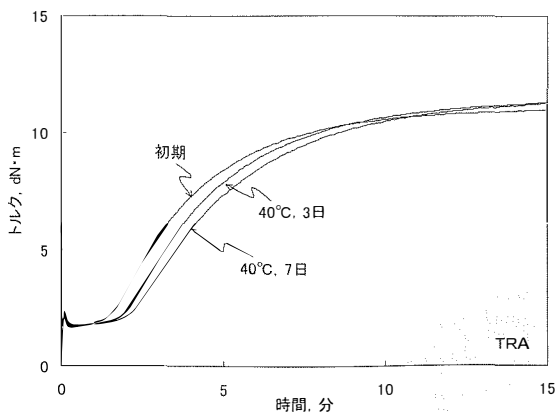


図4 TRA配合ゴムのビンキュアー性

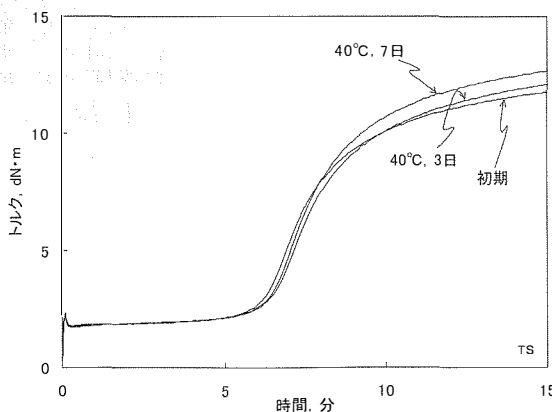


図5 TS配合ゴムのビンキュアー性